

※※2007年5月改訂(第4版、自主改訂)
※2005年7月改訂(第3版、薬事法改正に伴う改訂)

貯 法：しゃ光・気密容器
使用期限：容器、外箱に表示

■ 116 ■

漢方製剤

ツムラ 茯苓飲合半夏厚朴湯エキス顆粒(医療用)

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	(61AM)3266
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

【組成・性状】

組 成	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。 日局ハンゲ……………6.0g 日局ニンジン……………3.0g 日局ブクリョウ…………5.0g 日局ソヨウ……………2.0g 日局ソウジュツ…………4.0g 日局キジツ……………1.5g 日局コウボク……………3.0g 日局ショウキョウ…………1.0g 日局チンピ……………3.0g	
	添加物	日局ステアリン酸マグネシウム、日局乳糖水和物、ショ糖脂肪酸エステル
性 状	剤 形	顆粒剤
	色	灰かっ色
	におい	特異なにおい
	味	わずかな渋味
	識別コード	ツムラ／116

【効能又は効果】

気分がふさいで、咽喉、食道部に異物感があり、時に動悸、めまい、嘔気、胸やけなどがあり、尿量の減少するものの次の諸症：
不安神経症、神経性胃炎、つわり、溜飲、胃炎

【用法及び用量】

通常、成人 1 日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

	頻度不明
過 敏 症 ^{注1)}	発疹、蕁麻疹等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

4. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

5. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]

【包 装】

500g、5kg(500g×10)、2.5g×42包、2.5g×189包

※※【文献請求先】

株式会社ツムラ お客様相談窓口
東京都港区赤坂2-17-11 〒107-8521
TEL：0120-329970 FAX：03-5574-6610

※※



株式会社ツムラ
東京都港区赤坂2-17-11

